

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
(事務局：全国私立学校教職員組合)
No.9 2020年9月18日(金)

9月15日 岩手 過去最高数の 要請ハガキを 県知事へ提出

9月15日(火)、「私学助成をすすめる岩手の会」は、とりくみ史上最高数の1万8001枚の知事宛要請ハガキを提出しました。

当初、本人たちの希望で高校生の参加をお願いしていたのですが、残念ながら県からの拒絶に遭い実現できませんでした。主権者教育の視点からも県の姿勢が問われるところです。

しかし、岩手の会参加校のPTA役員が複数参加し、「はがき」に込められた、父母・生徒の思いを、代表して県へ直接伝えました。



佐々木部長(右)に、はがき(手前)と要請書を提出する原田副会長=15日、岩手県庁

岩手の会
私学助成をすすめる
岩手の会(土屋直人会
長)は15日、遠征拓也
知事あての「私の一
言」を書いた1万80
01枚のはがきを添え

“私学守って”1万8001通 助成拡充求め知事にはがき

要請しました。高校教

員やPTA役員18人が参加し、ふるさと振興部の佐々木部長らが対応しました。原田徹副会長が、▽私立学校への運営費補助の増額▽国の就学支援金制度に上乗せする県の私立高校等授業料減免補助の拡充(年

収590万円以上世帯)▽各教室への冷房設置の補助制度新設など5項目を求めました。山本茂樹事務局長は「2005年から取り組んできた知事あてのはがきが過去最高の枚数になった。コロナ禍での県民の思いが詰まっている」と強調。今年度の県単独授業料助成額は昨年度比で3000万円(42%)減っており、増額すべきだと語りました。県南の高校教員は「全国調査では岩手の授業料滞納率が高い」と話し、別の高校教員は「生徒会が率先してはがきを集めてくれ

2020年9月17日 しんぶん 赤旗

私学の学費も無償に！ すべての私学が発展出来る私学助成を！
誰もが私学に通える私学助成を！

2020
速報

神奈川私教連

第12号

2020年9月18日(金)

発行：神奈川私学職員組合連合
横浜市中区桜木町3-9横浜平和労働会館
<http://www.k-sikyoren.or.jp>
TEL 045-212-5571 FAX 045-212-5575

た。来年は生徒も要請に参加を」と要望。佐々木部長は「みなさんの意見をしっかりと受けとめ、検討する」と答えました。

9・13「学費ホットライン」18件の相談が続々…

神奈川私教連は9月13日・午後「学費ホットライン」を行い、4時間で18件の相談が次々とよせられました。

当日に向けて朝日新聞・東京新聞などが学費ホットラインの実施告知を掲載すると、期日前から電話での問い合わせがありました。また、当日は朝日新聞からの取材も入る事になり、私教連会議室には横断幕も準備。当日は父母3名を含む11名が集まりました。

公立中学が私教連の案内チラシを増刷・配布

当日、次々とよせられる相談で最も多かったのは、中学3年生を持つ父母でした。

「中学3年の子どもがおり、来年、私学の受験を考えているが、学費のことが心配」との内容が最も多く、例年は春の「私学展」が行われなかったこともあり、学費の事を相談できない父母が多いことが実感されました。

相談の最初にホットラインをどこで知ったかを尋ねると、webや新聞の告知よりも最も多かったのがチラシです。なんと、藤沢・川崎・秦野などの公立中学校が、学費ホットラインを知らせる私教連のチラシを印刷して配り、「学校で子どもがもらってきたので知った」ということでした。

私教連の名前で配布したチラシを公立中学校が印刷して配布した例は珍しく、それだけ「私学に行きたいが学費が心配」「学費補助はどうなっているのだろうか」という不安がコロナ禍と経済危機の中で広がっているものと思われます。

また、相談の中では、「現在、子どもが私学に通っていて700万円～910万円の枠で学費補助を受けているが、コロナの影響もあり収入が減ってしまうとどんな補助の対象になるのか」という内容や、「神奈川に住んでいても、東京の私学に進むと、神奈川の学費補助の対象とならないのはなんとかならないのか」等の声もよせられました。

学費ホットライン第二弾を検討へ

学費ホットラインの中心となって準備した柳原助対部長は、「実際に取り組むまでは、不安だった。取材も入るのに相談があるだろうか」と不安で重圧も大きかった。しかし、実際にやったらこんなにも相談が多い。こんなにも求められているのか、と実感した。県私学振興課や私立中高協会にも相談に取り組む様に求めると共に、私教連としても第二弾の実施を検討していきたい」と話しています。執行委員会では、近日中に第二段の実施を決めたいと考えています。みなさんも次の機会には、ぜひ、ご参加ください。



学費問題の相談先 県民は求めていた

神奈川私教連 学費ホットラインへ 相談多数

4時間で18件。9/13午前中「私学助成署名スタート集会」を開催し、13:00～17:00で学費ホットラインを実施。3台準備した電話は13:00のスタートからなりはじめました。

相談の最後に訊くと、川崎市、藤沢市、相模原市などの中学校でチラシが配布された様子でした。

県民要求に応えたとりくみとなりました。